

論文

## ビジネス教育における効果的なグランドデザインに関する検証

加藤 千景・尾碕 眞・吉田 聡

### キーワード

ビジネス教育、学習指導要領、グランドデザイン、学校教育全体構想図

### 1. はじめに

文部科学省の統計によると、近年の高等学校卒業生における大学進学率は 50% を超えているものの、商業科や工業科などの専門高校に限定してみると就職者の割合が高く、大学進学率が 22% 程度なのに対して就職率が 50.2% であり、さらにここ数年は概ね上昇傾向にある<sup>1</sup>。このため、専門学科においては卒業後すぐに就職する生徒に対応した教育の重要性が高い。

就職率が高いとされる専門学科のうち、社会で必要とされるビジネスの知識の取得を目指した学科としては商業科や総合学科などがある。これらの学科においても時代の変化に合わせた専門教育を行うほか、キャリア教育や課外活動など教科以外の学習についてもこれまで以上に重要視されることが予想される。

実際、学校教育においては小学校から中学校にて令和 2 (2020) 年度に学習指導要領が改訂となったほか、商業科を含む高等学校においても令和 4 (2022) 年度に改訂となった。具体的には、生産年齢人口の減少、情報化やグローバル化、進化した人工知能 (AI)、Society 5.0 と呼ばれる新たな時代の到来に対応し、観光ビジネスを新設したほか、商品開発と流通、ビジネス法規、ソフトウェア活用は名称変更した。また、ビジネス実務の指導項目を再構成してビジネス・コミュニケーションにするなど科目構成が変容することとなった。さらに、アクティブラーニングを重視した総合的な学習の時間を総合的な探求の時間と改訂し、変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指すこととなり、これからの時代においてますます重要な役割を果たすことがわかる。

---

<sup>1</sup> 文部科学省『普通科・職業学科別進学率就職率』

このような状況を受け、学校現場においては教育のグランドデザインを定めて生徒指導やキャリア教育、課外活動などについても時代の変遷に応じて内容の見直しを含めた検討を行うことが望まれており、その効果についても常に検証を行っていく必要がある。

これまで、筆者らは商業教育の現状を詳細に分析するとともに、商業教育の変遷から今後の展望について考察してきた。また、グランドデザインが専門教育やキャリア指導に対して一定の効果が期待できることも示してきた。

本論文ではさらに、グランドデザインの効果から見る生徒の学習満足度や達成度などについてもより詳細な検証を行うとともに、学年ごとの満足度の変化や課外活動と学習効果との相関関係などについての検証を行っていく。本論文の執筆にあたっては、1章、4章および6章については吉田聡、2章、3章、および5章1節については加藤千景、5章2節については尾崎眞がそれぞれ担当した。

## 2. 即戦力となる社会人に向けたグランドデザイン

これまで多くの日本企業では、終身雇用制度の下、一つの企業内でキャリアを積み重ねることが主流であった。しかし、現在では労働力人口の減少、生産性の向上、働き方の変容等転職したり起業したりすることでキャリアを積み重ね、自分らしい生き方を求めるようになった。そこで、愛知県立岡崎商業高等学校（以下本校とする）では、実践している教育課程や課題研究などの学びを通して自分らしい生き方を模索することとした。即戦力となる社会人の定義を広義にとらえると、社会から必要とされる能力や技術等もっている人、その人物像は多岐にわたると考えられる。能力、技術等については職種により多様であるが、社会から求められている人物像は同じではないだろうか。本校生徒は卒業後、就職する生徒は50%、大学、短大、専門学校等の上級学校へ進学する生徒は50%である。社会人に必要な基礎学力や商業の専門知識を身に付ける教育課程、学校行事、部活動、資格取得等を通して、即戦力となる社会人の重要な要素である人間力、適応力、コミュニケーション能力を育成することを教育の柱とした。

また、平成29（2017）年公表の小学校・中学校学習指導要領（解説総則編）では、社会に開かれた教育課程の理念に基づき、めざすべき教育の在り方を家庭や地域と共有し、その連携及び協働のもとに教育課程の編成についての基本的な方針を家庭や地域とも共有していくことが示されている。このことは、社会人の重要な要素も示されており、本校においては、教育目標に照らしながら各教科等の授業のねらいを改善したり、教育課程の実施状況を評価したりすることが可能となるよう、教育目標の達成に向けて具体的な取組を示すことにした。令和3（2021）年度、前年度と同様の校訓、学校目標をもとに育てたい生徒像を即戦力となる社会人を育成すると掲げた。即戦力となる社会人に必要な資質能力は多岐にわたるが、本校では、人間力、適応力、コミュニケーション能力の3つの力を中心に育成していくこととした。AGU

ビジネスレビュー第2号<sup>2</sup>でも述べているが、多くの企業が求めている資質や能力を育成することで即戦力となる社会人として承認されると考えられる。表2-1にある2020岡商グランドデザインを基軸に表2-2の2021岡商グランドデザインを構築し、何ができるようになるか、何を教えるか、どのように教えるか、という視点をすべての教職員が意識し、段階的に取り組むためのプランを共有し、行動に移すためのモチベーションを維持することが学校力の向上につながると考え、以下のような項目のねらいを位置付けた。

### (1) 育てたい生徒像

本校は、明治35（1902）年7月に創立し、令和3（2021）年119年目を迎える単独商業高校である。ここまで約2万7千人以上の卒業生を輩出しており、近隣の市町では多くの卒業生が勤務している。高校を卒業後、地元企業に就職する生徒は約5割、進学も約5割であるが、上級学校卒業後も、地元に残り地域活性化に貢献している。育てたい生徒像は、即戦力となる社会人である。社会人育成を多面的にとらえた岡商モットーは、士魂商才である。武士の精神（自分自身と向き合う強さ）と商人の知恵（利他の精神）を兼ね備えた人財の育成を通して必要な資質や能力に磨きをかけている。

### (2) 身に付けたい資質・能力

身に付けたい資質・能力は人間力、適応力、コミュニケーション能力とした。まず人間力であるが、人間力として利他の精神、感謝の心、チャレンジ精神を掲げている。本校の校訓は、開拓精神の啓培、下座の行を尊ぶ、創造力を培うである。校訓を意識し人間力の向上を目標に掲げた。次に、適応力である。基礎学力を身に付けることで適応力が磨かれ、専門知識を深めることで適応力の範囲が広がり、創意工夫をすることで新たな価値を発見できると考えられる。そして、多様性を認め合い、他人の話をしっかり聞き受け止め、自分の意見を述べるができるといったコミュニケーション能力を身に付けたい資質・能力として位置付けた。

### (3) 各学年での取組

育てたい生徒像、身に付けたい資質・能力を段階的に考え、各学年で一貫した取組を掲げた。1年生は新しい環境への順応と自己理解を目標とした。具体的には、自発的な挨拶、学習習慣の確立と自らの目標設定、時間厳守の精神と涵養に向けて取り組んだ。2年生は互いに認め合い、高め合える集団を目標とした。具体的には、お互いに良い影響を与え合いながら成長できる環境づくり、他者や集団のことを考えた思いやりのある行動、進路意識の向上と進路実現のための主体的な学びに向けて取り組んだ。3年生は社会人になるための準備を目標とした。具体的には、基礎学力のアップと資格の取得、周囲への配慮した大人の言動、主体的な活動の実践に取り組んだ。

<sup>2</sup> 加藤千景、尾碕眞、吉田聡「ビジネス教育の発展を目的としたグランドデザインに関する考察」AGUビジネスレビュー2号、p35。

#### (4) 進路指導での取組

進路指導は、教育活動の要であり、卒業時の進路決定を見据えて段階的な取組が必要である。各学年の目標と補完し合うよう工夫している。具体的には、1年生では、まず自己を知る・人間関係を築くことから自己理解や情報収集を行う。2年生では、自分を磨く・職業や社会を知り様々なことに挑戦させ、情報を選択できる環境を作る。3年生では、社会での自分の役割を知り、決心を通して自己実現の在り方を追求させている。

#### (5) 教務指導での取組

普段の学習指導であるが、継続した学びの姿勢が最も大切であると位置づけている。具体的には、学習意欲や探求心を高めるための工夫や地域に開かれた教育課程を目指した。また、令和4(2022)年4月から新教育課程に移行することを中学校3年生に向けて学校案内やホームページ等を活用して発信した。本校生徒に対しては、年2回岡商ステップアップアンケートを実施し、生徒の授業に向けた取組姿勢について調査した。先生方はその結果を活用し、分かりやすい授業をマネジメントするよう努めた。

#### (6) 生徒指導での取組

組織的な生徒指導は、生徒や教職員に公平性や平等性を考えさせる契機になっている。具体的には、さわやかな挨拶を身につける、社会人を意識した身だしなみの必要性について投げかけて生活指導の重要性について掲げている。

#### (7) 専門教科・商業での取組

本校では、2年次より4つの学科(総合ビジネス科、国際ビジネス科、情報処理科、情報会計科・令和5年度からはグローバルビジネス科、ITビジネス科、会計ビジネス科の3つの学科)に分かれ、より専門性の向上を図っている。商業科の目標は、ビジネスに関する技術、課題発見・解決能力、主体的・協働的態度の育成である。具体的には、ビジネスに関連させた実践的・体験的な学習活動を実践している。

#### (8) 共通教科での取組

国語科では、社会に適用する豊かな表現力・語彙力・共感力・自己発信力をもつ人材の育成を目標に実践している。地歴・公民科では、憲法、政治、経済、公共について正確な知識をもち、地域社会に貢献できる市民の育成を目標に実践している。また、世界の多様な文化、歴史について理解し、国際化に対応、貢献できる市民の育成に力をいれている。数学科では、問題演習を通じて、柔軟な思考力や発想力を養い、筋道を立てて正しく考える力を育成することを目標に実践している。理科では、科学的な知識や概念の定着と科学的な見方や考え方の育成を目標に実践している。保健体育科の、保健については、調べ学習やグループ学習を通じて、自分自身の健康について主体的に考えて行動できる能力の育成を、体育については、実技を通して各種目の技能・特性・知識を理解し、生涯を通して主体的に運動に参加する姿勢を育成して

いる。英語科では、言語活動を通して情報や異文化を理解させ、他者に伝えるためのコミュニケーション能力の育成を目標に実践している。家庭科では、人の一生と生活全般に関する知識・技術の育成、SDGsを意識できる態度の育成を目標に実践している。芸術科（音楽・美術・書道）では、豊かな心の育成、表現方法の習得と活用、生涯を通じて学ぶ姿勢の育成を目標に実践している。

#### （9）学校行事等の役割

年間行事を通して、生徒を大きく成長させる特別活動、日頃の清掃活動、相談活動等は学校運営の重要な役割を担い道德教育に繋がっている。特別活動は、様々な声を聴き、取り入れ、みんなで作るコロナ禍の行事づくりと目標を掲げて実践している。また、毎日の清掃活動は、清掃区域の問題点や改善点を認識し、清掃班の仲間とともに自発的に清掃活動に取り組むことを目標にした。相談活動では、他者を思いやる言動を心がけ、他者を認めることができる力を育むことを目標に掲げている。

#### （10）地域連携での取組

高大連携、地域連携、企業連携等多岐にわたる取組は、生徒の成長を助長させ、広い視野、専門的な知識、生徒にとってコミュニケーション能力の必要性を感じさせる契機になっている。学校評議員の委嘱、PTAとの連携事業、同窓会（商友会）の支援を通して教育活動が成り立っていることを強調し掲げている。

#### （11）部活動の位置づけ

本校では、課外で部活動に所属するよう呼び掛けている。1年生は全員加入であるが2年生からは自由参加である。部活動の目標は、長所をみつける・磨くものである。2021岡商ブランドデザインにも示されているように、運動部には、ソフトテニス、バスケットボール、弓道、剣道、柔道、陸上競技、硬式野球、ハンドボール（女）、新体操（女）、ソフトボール（女）、バレーボール（女）、卓球（女）、サッカー（女）がある。文化部には、OKASHOP、情報処理、簿記、ワープロ、電卓、商業美術、吹奏楽、演劇、新聞、家庭、茶華道、音楽、国際交流、ダンス（女）、ボランティアがある。本校の男女比率は、2対8であることから、女子のみの部活動が多く存在する。

#### （12）その他

本校では、読書等の活動を充実させるために、図書館便りでの情報発信や様々な機会を通して読書習慣（年間一人5冊以上）の育成、ビブリオバトルを実施し読書の質の向上を図ることを目標にしている。また、岡崎商業高校は令和4（2022）年に創立120周年を迎える。長い歴史と伝統をさらに継続させていくために、岡商ブランド向上委員会を継続して設置した。引き続き、制服、体操服、グラウンドコートの検討、岡商指定バッグを含む岡商グッズを見直してトータルコーディネートを目指している。さらに、表2-2の2021岡商ブランドデザインと

表 2-1 2020 岡商ブランドデザイン

岡商生が身につけたい「か・き・く・け・こ」 感動→興味→工夫→決断→行動→感動→興味→のサイクルを身につけよう			2020 岡商 GRAND DESIGN			
何 が で き る よ う に 教 え る か	育てたい生徒像	身に付けたい資質・能力	学びの姿勢			
	即戦力となる社会人を育成する	人間力 ・利他的精神 ・感謝の心 ・チャレンジ精神	適応力 ・基礎学力 ・専門知識 ・創意工夫	・学習意欲や探究心を高める、地域に開かれた教育課程 ・岡商ステップアップアンケートを活用した授業マネジメントの実施 商業（総合ビジネス・国際ビジネス・情報処理・情報会計） 目標：ビジネスに関する知識・技術、課題解決能力、主体的・協働的態度の育成 方法：ビジネスに関連させた実践的・体験的な学習活動		
	岡商モットー 「士魂商才」 武士の精神（自分自身と向き合う強さ） 商人の知恵（利他的精神） を兼ね備えた人材の育成	コミュニケーション能力 ・多様性を認め合える ・他人の話をしっかり聞き受け止める ・自分の意見を述べるができる	国語 社会に通用する豊かな読書力・共感力・自己発信力を持つ人材の育成	地歴・公民 ・憲法、政治、経済、社会について正確な知識を持ち、地域社会に貢献できる市民の育成 ・世界の多様な文化、歴史について理解し、国際化に貢献できる市民の育成	数学 問題演習を通じて、柔軟な思考力や発想力を養い、筋道を立てて正しく考える力を育成	体育 生涯を通じて運動に親しむことができるように、技能だけでなく、各種目の特性の理解や、知識の習得なども目標にした授業を展開
	学年で一貫した取り組み	進路指導	理科 科学的な知識や概念の定着と科学的な見方や考え方を育成	保健 グループ学習や調べ学習などを通して、自らの健康について主体的に考えて行動できる資質や能力を育成	芸術 豊かな心の育成 表現方法の習得と活用 生涯を通じて学ぶ姿勢の育成	
	1年 目標を立て、未来の自分のための行動 ・新しいことへの意欲的な挑戦 ・学習習慣の定着 ・挨拶の動作と時間・ルールの遵守	1年 自己を知る・人間関係を築く 「憧れ」「自己理解」	外国語 英語が世界への「窓」を開くツールであることを理解させ、その「道具」の活用 ・世界の人々と様々なことを共有できる英語力の基礎を育成	家庭 人の一生と生活全般に関する知識、技術の育成		
	2年 1つ上のレベルへの挑戦 ・資格取得をはじめとした知識・技術の習得 ・大人の言動と周囲への配慮 ・上質なマナーの習得	2年 社会を知る・職業を知る 「挑戦」「自己啓発」	読書習慣・活字に触れる 図書館だよりを活用して生徒に読書習慣の育成。さらにヒブリアトルを実施して読書の質の向上			
	3年 社会に出るための準備 ・基礎学力の充実 ・物事を深く考える力 ・多様性への理解と利他的心	3年 社会での自分の役割を考える 「貢献」「自己実現」	組織的な生徒指導 ・さわやかな挨拶を身につける ⇒ 校門指導およびST、授業の前後 ・社会人を意識した身だしなみ ⇒ 学校生活全般			
	道徳教育 特別活動 それぞれが客観的視点に立ち、より多くの生徒が充実感を感じることができる 清掃活動 活動場所の問題点に気づき、他者と協力しながら自主的に行動を起こすことができる 相談活動 他者を思いやる言動を心がけ、必要時には他者と相談することができる	連携機関 ・岡崎女子大学短期大学、名古屋産業大学、看護科技大学（台湾） PTA ・PTA総会、PTA通信の発行、岡商祭への協力依頼 同窓会 ・120周年行事の計画立案（2022年：120周年式典） 地域 ・学校評議員の委嘱、行事の際の協力依頼				
	部活動 加入率と継続率の向上作戦	運動部 ソフトテニス（男女）・バスケットボール（男女）・弓道（男女）・剣道（男女）・陸上競技（男女）・硬式野球・ハンドボール（女） 新体操（女）・ソフトボール（女）・バレーボール（女）・卓球（女）・サッカー（女）	文化部 OKASHOP・情報処理・簿記・ワープロ 電卓・商業美術・吹奏楽・演劇・新聞・家庭・茶華道・音楽・国際交流・ダンス・ボランティア			
	岡商のブランド力（岡商ブランド向上委員会の設置） 制服の検討、岡商バッグを含む岡商グッズの見直し、岡商のトータルコーディネート、120周年（2022年）に向けた取組計画立案					

表 2-2 2021 岡商ブランドデザイン

岡商生が身につけたい「か・き・く・け・こ」 感動→興味→工夫→決断→行動→感動→興味→のサイクルを身につけよう			2021 岡商 GRAND DESIGN			
何 が で き る よ う に 教 え る か	育てたい生徒像	身に付けたい資質・能力	学びの姿勢 「学びあい・教えあい・高めあい」			
	即戦力となる社会人を育成する	人間力 ・利他的精神 ・感謝の心 ・チャレンジ精神	適応力 ・基礎学力 ・専門知識 ・創意工夫	・学習意欲や探究心を高める、地域に開かれた教育課程 ・岡商ステップアップアンケートを活用した授業マネジメントの実施 商業（総合ビジネス・国際ビジネス・情報処理・情報会計） 目標：ビジネスに関する技術、課題発見・解決能力、主体的・協働的態度の育成 方法：ビジネスに関連させた実践的・体系的な学習活動		
	岡商モットー 「士魂商才」 武士の精神（自分自身と向き合う強さ） 商人の知恵（利他的精神） を兼ね備えた人材の育成	コミュニケーション能力 ・多様性を認め合える ・他人の話をしっかり聞き受け止める ・自分の意見を述べることができる	国語 社会に通用する豊かな表現力・読書力・共感力・自己発信力を持つ人材の育成	地歴・公民 ・憲法、政治、経済、公共について正確な知識を持ち、地域社会に貢献できる市民の育成 ・世界の多様な文化、歴史について理解し、国際化に貢献できる市民の育成	数学 問題演習を通じて、柔軟な思考力や発想力を養い、筋道を立てて正しく考える力を育成	体育 調べ学習やグループ学習を通じて、自分自身の健康について主体的に考え、行動できる能力の育成
	学年で一貫した取り組み	進路指導	理科 科学的な知識や概念の定着と科学的な見方や考え方を育成	保健 調べ学習やグループ学習を通じて、自分自身の健康について主体的に考え、行動できる能力の育成	芸術 豊かな心の育成 表現方法の習得と活用 生涯を通じて学ぶ姿勢の育成	
	1年 新しい環境への順応と自己理解 ・自発的な挨拶 ・学習習慣の確立と、自らの目標設定 ・時間厳守の精神の涵養	1年 自己を知る・人間関係を築く 「自己理解」・「情報収集」	外国語 言語活動を通して情報や異文化を理解し、他者に伝えるためのコミュニケーション能力を育成	家庭 人の一生と生活全般に関する知識、技術の育成 SDGsを認識できる態度の育成		
	2年 互いに認め合い、高め合える集団 ・お互いに良い影響を与え合いながら成長できる確立づくり ・他者や集団のことを考えた思いやりのある行動 ・進路意識の向上と進路実現のための主体的な学び	2年 自分を認く・職業や社会を知る 「挑戦」・「情報選択」	読書習慣・活字に触れる ・図書館便りでの情報発信や様々な機会を通して読書習慣の育成（年間1人5冊以上の読書） ・ヒブリアトルを実施して読書の質の向上			
	3年 社会人になるための準備 ・基礎学力のアップと資格の取得 ・周囲への配慮した大人の言動 ・主体的な活動の実践	3年 社会での自分の役割を知る 「決心」・「自己実現」	組織的な生徒指導 ・さわやかな挨拶を身につける⇒校門指導およびST、授業の前後 ・社会人を意識した身だしなみと言動を身につける⇒学校生活全般			
	道徳教育 特別活動 様々な声を聞き、取り入れみんなで作るコロナ禍の行事づくり 清掃活動 清掃区域の問題点や改善点を認識し、清掃班の仲間とともに自発的に清掃活動に取り組む 相談活動 他者を思いやる言動を心がけ、他者を認めることができる	連携機関 ・岡崎女子大学短期大学、名古屋産業大学、看護科技大学（台湾） PTA ・PTA総会、PTA通信の発行、岡商祭への協力依頼 同窓会 ・120周年行事の計画立案（2022年：120周年式典） 地域 ・学校評議員の委嘱、行事の際の協力依頼、SDGsを認識した地域活動				
	部活動 長所をみつける・磨く部活動	運動部 ソフトテニス（男女）・バスケットボール（男女）・弓道（男女）・剣道（男女）・陸上競技（男女）・硬式野球・ハンドボール（女） 新体操（女）・ソフトボール（女）・バレーボール（女）・卓球（女）・サッカー（女）	文化部 OKASHOP・情報処理・簿記・ワープロ 電卓・商業美術・吹奏楽・演劇・新聞・家庭・茶華道・音楽・国際交流・ダンス・ボランティア			
	岡商のブランド力（岡商ブランド向上委員会の継続） 制服、体操服、グラウンドコートの検討、岡商バッグを含む岡商グッズの見直し、岡商のトータルコーディネート、120周年（2022年）に向けた取組計画立案・実施					

表 2-1 の 2020 岡商グランドデザイン<sup>3</sup>にも掲げている、岡商生が身につけたい、かきくけこ、を引き続き継承した。まず感動すること、させることで様々なきっかけ作り行う。感動があれば興味が自然と湧いてくるであろう。興味がもてれば、どうすれば上手くできるようになるか考え、自ずと工夫するようになると考えられる。工夫を繰り返していくうちに得意なこと、挑戦してみたいことが見えてくるのではないだろうか。そこで、もっと頑張ってみようと決断するが、この決断は、成功するか失敗するかではなく、行動するための決意表明としてとらえている。行動することで自ずと結果が出てくるが、何かしらの感動に結びついていると考えられる。失敗しても努力した自分に感動を受け、上手くいけば喜びや自信につながり大きな感動を得ると考え、このサイクルは生きる力を育成することにつながっていると考えられる。生きる力があってこそ即戦力となる社会人に近づくと確信し目標達成のための行動パターンとして位置づけている。

### 3. グランドデザインの検証

#### 3. 1 高校 3 年生を対象としたアンケートの実施

令和 4 (2022) 年 2 月、卒業前に 3 年生に対してアンケートを実施した。2021 岡商グランドデザインの目標である即戦力となる社会人に近づけることができたか分析し、考察することを目的に行った。昨年度のアンケートからは、部活動への参加状況、部活動に対する生徒評価、3 年間の友人関係、自宅での学習環境については、グランドデザイン検証の項目から乖離していると考えアンケートから除外した。

##### (1) 商業高校へ進学した理由

本校へ進学した理由について表 3-1、図 3-1 でまとめた。最も多かった理由は、自分の学力にあっているからが全体の 26%であった。次に、就職もできる・進学もできる学校だったからが 22%、続いて、就職希望だったからが 14%、家族にすすめられたからが 10%であった。昨年度 (令和 2) は、就職希望だったからが 29%あり、最も多かった理由であった。

##### (2) 学科を選んだ理由

1 年生で学んだ専門科目の学びを深めるために、2 年生から 4 つの学科に分かれ、発展的な内容を学習している。学科を選んだ理由を表 3-2、図 3-2 にまとめた。それぞれの学科を選んだ理由は、たくさん資格が取得できるからが最も多く 27%を占めていた。昨年度の同項目は 20%であった。次に多かったのは就職したいと考えていたからが 15%、続いて、簿記分野の学習が好き (得意) だったからが 12%であった。

<sup>3</sup> AGU ビジネスレビュー 2 号前掲論文、p36。

表 3-1 進学した理由の集計

自分の学力にあったから	152	26%
就職もできる・進学もできる学校だったから	130	22%
就職希望だったから	84	14%
家族にすすめられたから	60	10%
やりたい部活があったから	45	8%
魅力的な学科があったから	43	7%
中学校の先生にすすめられたから	33	6%
進学希望だったから	15	3%
本校の先輩にすすめられたから	6	1%
その他	27	5%

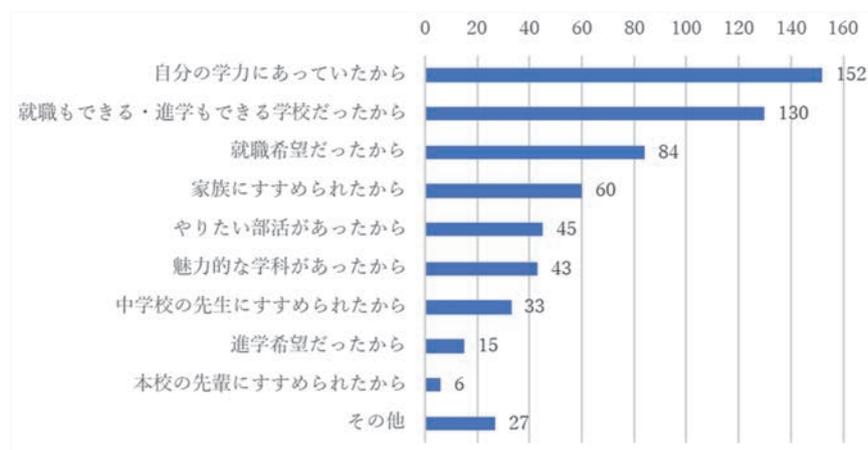


図 3-1 商業高校へ進学した理由について

表 3-2 学科を選んだ理由の集計

たくさん資格が取得できるから	120	27%
就職したいと考えていたから	69	20%
簿記分野の学習が好き（得意）だったから	53	12%
進学したいと考えていたから	49	11%
海外修学旅行へ行きたかったから	47	10%
情報分野の学習が好き（得意）だったから	37	8%
部活に力を入れたかったから	27	6%
国内修学旅行へ行きたかったから	20	4%
その他	30	7%

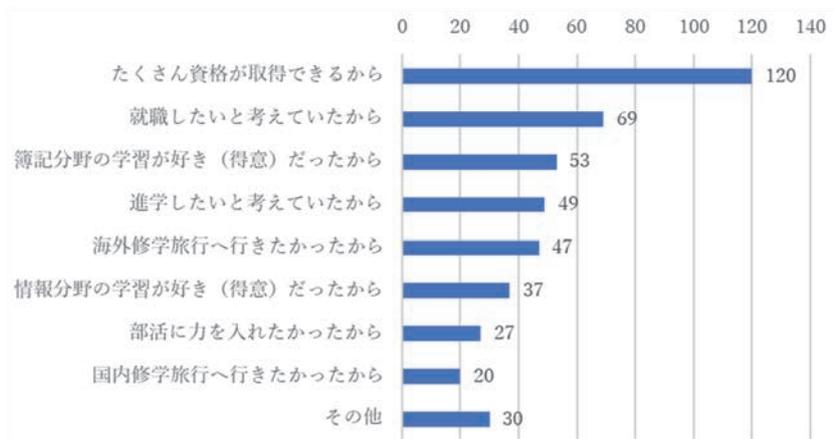


図 3-2 学科を選んだ理由について

(3) 高校生活を通して良い影響を与えたもの

昨年度は、生徒が頑張ったことについて回答を求めたが今年度は良い影響を与えたものと質問を変更した。変更した理由は、高校生活を充実させていることや自分の成長が感じられたことを調査するためである。表 3-3 および図 3-3 のように集計し学校の魅力について考察する。最も多い回答だったのは、資格取得 27%であった。次は、部活動 19%であり、続いて学校行事（文化祭）が 15%、学校行事（体育祭）13%であることを通して、生徒の充実した学校生活を支えていることを分析できる。

(4) 2021 岡商グランドデザインの目標達成状況（3 年生）

表 3-4 にグランドデザインの目標達成状況を目標項目別にまとめた。この目標は社会に必要なとされる要素の 16 の項目について、日々努力を積み重ねている状況を評価 1~4 の段階評価を

表 3-3 高校生活を通して良い影響を与えたもの

資格取得	184	27%
部活動	133	19%
学校行事（文化祭）	100	15%
学校行事（体育祭）	89	13%
勉強（定期考査）	63	9%
皆勤（欠席なし）	46	7%
学校行事（クラス・学年 LT）	35	5%
サマーフェスティバル	23	3%
生徒会	6	1%
その他	9	1%

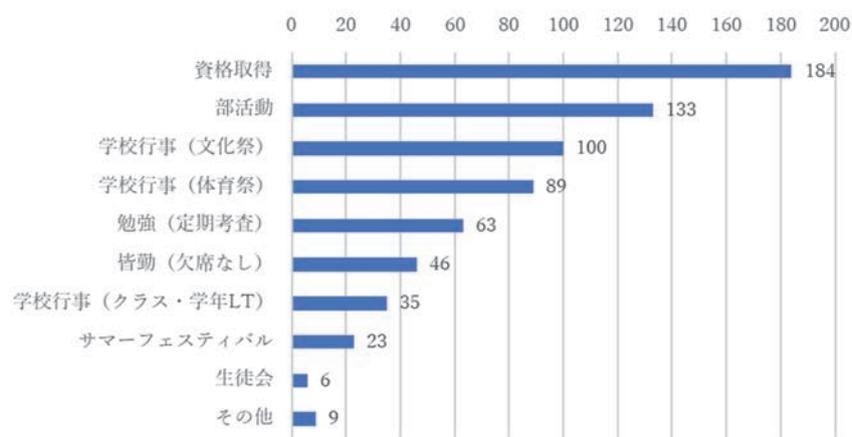


図 3-3 高校生活を通して良い影響を与えたもの

表 3-4 グランドデザインの目標達成状況 (3年生)

目標項目	評価	1	2	3	4	評価平均値※
利他の精神		10	32	113	109	3.2 (3.0)
感謝の心		5	19	59	181	3.6 (3.3)
チャレンジ精神		17	83	114	49	2.7 (2.6)
基礎学力		18	106	110	28	2.6 (2.5)
専門知識		14	70	129	50	2.8 (2.6)
創意工夫		30	103	93	35	2.5 (2.4)
自分の意見を述べる		25	97	94	45	2.6 (2.4)
人の話をしっかり聞き受け止める		8	30	127	97	3.2 (3.1)
多様性を認め合う		12	47	125	79	3.0 (2.8)
岡商生のかきくけこ		25	96	111	30	2.6 (2.4)
社会人になるための準備(言葉遣い・マナー)		9	42	144	69	3.0 (2.7)
読書習慣		117	72	45	30	2.0 (1.8)
さわやかな挨拶		15	65	116	68	2.9 (2.6)
社会人を意識した身だしなみ		9	43	132	79	3.1 (2.8)
主体的な行動力		8	65	127	63	2.9 (2.7)
地域との協力		62	92	84	25	2.3 (2.0)
社会人を意識した身だしなみ		9	43	132	79	3.1 (2.8)
主体的な行動力		8	65	127	63	2.9 (2.7)
地域との協力		62	92	84	25	2.3 (2.0)

※ ( ) は令和2年度、同生徒が2年生3月時点の評価平均値である。

行った結果である。評価1は、努力不足であり身に付いていない、評価2は、時々実践しているがまだ不十分、評価3は、時々実践し、少し身に付いたと感じる、評価4は、日頃から実践し、身に付いたと感じる、の4段階で評価させた。この基準に従うと項目内容は評価点置き換え可能なアンケートになり、最高点が4点、最低点が1点、平均値は2.5点となる。評価値の欄から、昨年度2年生の時点から目標達成状況の変化が分かる。評価が最も高かったのは、感謝の心であり、日頃から実践し、身に付いたと感じるという生徒は、全体の90.9% (264名)であり、評価平均値は3.6点と多くの生徒が意識し実践していることが分かる。次に高い評価であったのは、利他の精神と学校生活の中で人の話をしっかり聞き受け止めるが、評価平均値はそれぞれ3.2点であった。一方、読書習慣に対する評価は、努力不足であり身に付いていない、時々実践しているがまだ不十分と回答した生徒は、全体の71.5% (264名)であり、図書館の図書充実や活用方法の検討といった課題がある。

(5) 卒業後の進路

卒業後の進路は、生徒にとって将来のキャリア設計に大きな影響を与えていると考えられる。表3-5と図3-4から昨年度と比較して就職者が大幅に減少し、四大進学が増加していることが分かる。令和2(2020)年2月以降から大流行している新型コロナウイルス感染症による影響はまだ残っているが企業からの求人数は昨年度より増加している。卒業後、専門的なスキルを身につけることができる専門学校への進学が全体の24%、四大、短大への進学は全体の24%を占めていることが分かる。専門学科の学びをさらに深化させたり、高校時代の学びとは異なる道を選択したりと多岐にわたっていることから、今後は教育課程の変更も視野に入れる必要がある。

(6) 岡商への評価

記述式の解答欄を設け、100点満点中の点数で評価するようにした。ただし30点未満は赤点であることを明記した。その結果、100点満点中、67.9点が評価平均点であった。同じ生徒が2年生の時の評価は64.6点であった。概ね好意的な記述であったが、中にはコロナ禍で地域貢献活動ができなかったこと、校則についての是非については、評価が分かれていた。この評価を100点にすることを目標にする必要はなく、すべての教職員がバランスのとれた授業を実践し、学校生活が楽しいと感じる学校行事を行うなど、今あるべき課題に一つずつ向き合っていくことが涵養であると考えられる。

表 3-5 卒業後の進路

	就職	四大	短大	専門学校	フリーター	未定
令和2年度	182	21	12	61	1	5
令和3年度	133	47	16	62	1	5

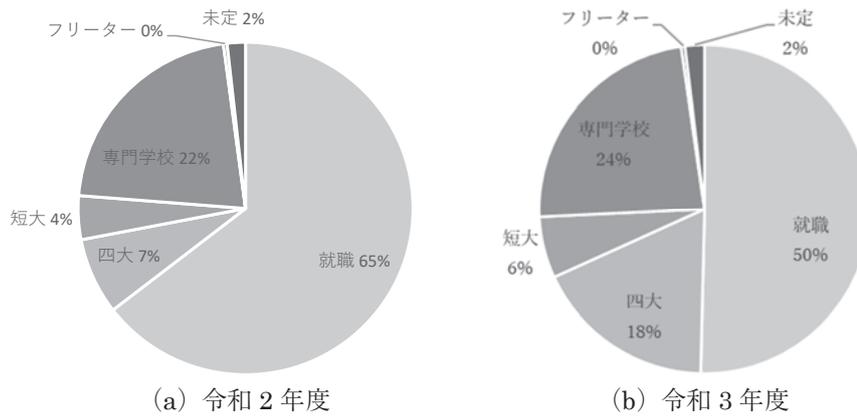


図 3-4 卒業後の進路

### 3. 2 高校1年生および2年生を対象としたアンケートの実施

#### (1) 学科選択の状況

入学時は、全科共通で学習を開始しているが、1年生の3学期に、2年生から所属する学科を決定している。令和3年度、表3-6で示したように2年生は、国際ビジネス科は2学級（78名）、情報処理科2学級（80名）、総合ビジネス科1学級（37名）、情報会計科2学級（73名）で構成されている。

表 3-6 学科選択の状況

	1年生（令和3年度入学）	2年生（令和2年度入学）
国際ビジネス科	80	78
情報処理科	77	80
総合ビジネス科	34	37
情報会計科	67	73

#### (2) 本校へ進学した理由（1年生のみ）

令和3年度入学生（258名）に対して本校を選んだ理由が表3-7および図3-5から分かる。最も多い回答は、就職もできる・進学もできる学校だったからが25.7%であり、4人に1人は就職か進学か入学時には決定していないことが分かる。次に多かった回答は、自分の学力に合っていたからが21.3%であり、本校での学びは、自分の能力を十分に発揮できる学習環境であると考えて選択していることが分かる。続いて、家族にすすめられたからが13.2%、就職希望だったからが11.4%であり、就職希望減少の理由の一つにコロナ禍で中学校での企業体験が著しく減少し、具体的な就職をイメージできないことが考えられる。

表 3-7 本校へ進学した理由

就職もできる・進学もできる学校だったから	146	25.7%
自分の学力に合っていたから	121	21.3%
家族にすすめられたから	75	13.2%
就職希望だったから	65	11.4%
やりたい部活があったから	56	9.8%
魅力的な学科があったから	51	9.0%
中学校の先生にすすめられたから	29	5.1%
進学希望だったから	21	3.7%
本校の先輩にすすめられたから	5	1.0%

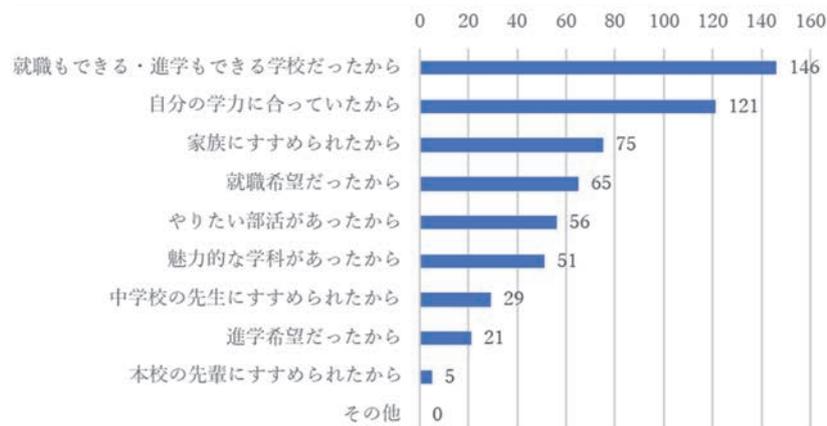


図 3-5 本校へ進学した理由

### (3) 高校生活を通して良い影響を与えたもの

昨年度は、生徒が頑張ったことについて回答を求めたが、今年度は良い影響を与えたものと質問を変更し回答を求めた。変更した理由は、高校生活を充実させていることや自分の成長が感じられたことを調査するためである。表 3-8 および図 3-6 のようにグラフ化し学校の魅力について考察する。まず、1年生のアンケート結果から、最も多い回答だったのは、資格取得 24.6%であった。次は、部活動 17.8%であり、続いて学校行事（文化祭）が 15%、学校行事（体育祭）13%であることを通して、充実している、成長していると感じる活動が明確になったといえる。

表 3-8 高校生活を通して良い影響を与えたもの（1年生）

資格取得	174	24.6%
部活動	126	17.8%
学校行事（文化祭）	106	15.0%
学校行事（体育祭）	92	13.0%
勉強（定期考査）	86	12.1%
学校行事（クラス・学年L T）	54	7.6%
サマーフェスティバル	38	5.4%
皆勤（欠席なし）	28	4.0%
生徒会	4	1.0%

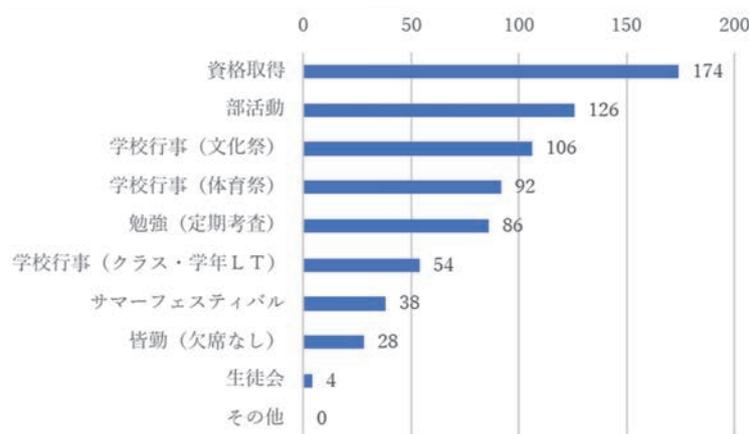


図 3-6 高校生活を通して良い影響を与えたもの（1年生）

2年生については、同様の質問に対して表 3-9 と図 3-7 から分かるが、最も多い回答であったのは、資格取得 18.8%、次いで学校行事（文化祭）18.4%と拮抗していることが分かる。資格取得も大切であるが、学校行事も生徒にとって大変良い影響を与えていることが読みとれる。部活動と回答したのは 15.7%であり 1年生と比較すると高校生活の中での位置付けが変容していることが分かる。質問を変更したこともあるが、頑張ったことと良い影響を与えたものが必ずしも一致しているわけではないことが窺える。

#### (4) 授業で学んだことに対する評価（1年生・2年生）

授業で学んだことに対する自己評価（表 3-10、表 3-11）は、生徒が各教科・科目の授業で学んだこと、成長できたことを評価 1～4 で最も近いものを選択するよう回答を求めた。評価 1 は、各教科・科目に対してあまり興味ももてず何を学んだのかよくわからなかった、評価 2 は、積極的には取り組めなかったが、テストに向けて努力した、評価 3 は、積極的に取

り組み、自分の成長を感じた、評価4は、大いに興味をもち、次の学年（1年であれば2年、2年であれば3年をさす）でより深く学びたくなった、という4段階とした。2年生の評価も同様の基準である。この基準に従うと、項目内容は評価に置き換え可能なアンケートになっており、最高点が4点、最低点が1点、平均値は2.5点となる。1年生で評価点が最も高かったのは、専門科目・簿記であり、大いに興味をもち、次の学年（2年）でより深く学びたくなった、積極的には取り組み、自分の成長を感じた、の項目を選択した生徒は、全体の73.1%（185名）であり、評価平均値は3.0点であった。2年生で評価平均値が最も高かったのは、専門科目・原価計算（情報会計科）であり、大いに興味をもち、次の学年（3年）でより深く学びたくなった、積極的には取り組み、自分の成長を感じた、の項目を選択した生徒は、全体の78.9%（56名）であり、評価平均値は3.0点であった。

表 3-9 高校生活を通して良い影響を与えたもの（2年生）

資格取得	133	18.8%
学校行事（文化祭）	130	18.4%
学校行事（体育祭）	125	17.7%
部活動	111	15.7%
サマーフェスティバル	73	10.3%
勉強（定期考査）	68	9.6%
皆勤（欠席なし）	35	5.0%
学校行事（クラス・LT）	30	4.2%
生徒会	2	0.3%

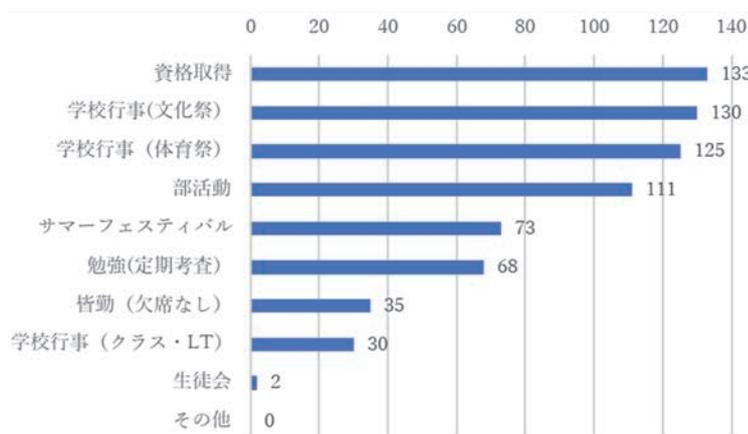


図 3-7 高校生活を通して良い影響を与えたもの（2年生）

表 3-10 授業で学んだことに対する自己評価 (1年生)

科目 \ 評価	1	2	3	4	評価平均値
国語総合	25	119	89	20	2.4
現代社会	14	134	80	25	2.5
数学 I	18	106	112	17	2.5
体育	14	70	124	45	2.8
保健	15	140	89	9	2.4
音楽・美術・書道	24	74	122	32	2.6
コミュニケーション英語	17	110	96	30	2.6
ビジネス基礎	14	95	114	30	2.6
簿記	2	66	124	61	3.0
情報処理	7	73	124	49	2.9

表 3-11 授業で学んだことに対する自己評価 (2年生)

科目 \ 評価	1	2	3	4	評価平均値
現代文 B	15	153	83	7	2.3
世界史	19	152	73	14	2.3
数学 A	21	123	102	11	2.4
科学と人間生活	24	147	79	7	2.3
体育	9	74	129	44	2.8
保健	12	160	83	3	2.3
コミュニケーション英語 II	12	146	86	14	2.4
英語会話	12	91	121	32	2.7
家庭総合	6	103	128	20	2.6
総合ビジネス科					
課題研究	3	10	16	6	2.7
マーケティング	2	18	13	2	2.4
財務会計 I	2	11	20	1	2.6
原価計算	2	13	19	1	2.5
国際ビジネス科					
ビジネス実務	3	33	32	7	2.6
財務会計 I	1	20	34	20	3.0
原価計算	1	20	39	15	2.9
情報会計科					
財務会計 I	0	20	39	12	2.9
原価計算	0	15	40	16	3.0
ビジネス情報	2	32	30	7	2.6
情報処理科					
ビジネス情報	5	35	27	12	2.6
プログラミング	6	33	27	12	2.6
IT 概論	4	36	29	10	2.6

(5) 2021 岡商グランドデザインの目標達成状況（1年生・2年生）

表 3-12 と表 3-13 は、グランドデザインの目標達成状況を目標項目別にまとめた。この目標項目は社会に必要とされる要素の 16 の項目について、生徒が日々の実践に合わせて評価 1~4 の段階評価を行った結果である。それぞれの項目に対して、評価 1 は、努力不足であり身に付いていない、評価 2 は、時々実践しているがまだ不十分、評価 3 は、時々実践し、少し身に付いたと感じる、評価 4 は、日頃から実践し、身に付いたと感じる、の 4 段階での評価を求めた。この基準に従うと項目内容は評価に置き換え可能なアンケートになっており、最高点が 4 点、最低点が 1 点、平均値は 2.5 点となる。1 年生で最も評価平均値が高かったのは、感謝の心であり、日頃から実践し、身に付いたと感じる、時々実践し、少し身に付いたと感じるといふ生徒は、全体の 92.5%（234 名）で、評価平均値は 3.6 点であり、多くの生徒が意識して実践していることが分かる。次に高い評価であったのは、利他の精神が 3.2 点であった。一方、読書習慣に対する評価は 2.0 点であり、昨年に引き続き学校として取り組まなければならない課題であるといえる。2 年生で最も評価平均値が高かったのは、1 年生と同様に感謝の心であり、日頃から実践し、身に付いたと感じる、時々実践し、少し身に付いたと感じるといふ生徒は、全体の 90.0%（233 名）で、評価平均値は 3.5 点であり、多くの生徒が意識して実践していることが分かる。次に高い評価であったのは、利他の精神と人の話をしっかり聞き受け止める、がそれぞれ 3.1 点であった。一方、読書習慣に対する評価は 1 年生と同様の 2.0 点であり、読書の大切さについて改めて理解させる機会の必要性があるといえる。

表 3-12 グランドデザインの目標達成状況（1年生）

目標項目	評価	1	2	3	4	評価平均値
利他の精神		3	42	122	85	3.2
感謝の心		3	16	73	161	3.6
チャレンジ精神		21	90	90	51	2.7
基礎学力		25	103	94	31	2.5
専門知識		8	68	107	70	2.9
創意工夫		29	112	82	29	2.4
自分の意見を述べる		40	116	66	31	2.4
人の話をしっかり聞き受け止める		8	40	130	75	3.1
多様性を認め合う		18	68	105	62	2.8
岡商生のかきくけこ		26	113	93	21	2.4
社会人になるための準備（言葉遣い・マナー）		8	65	118	61	2.9
読書習慣		100	82	40	31	2.0
さわやかな挨拶		16	80	89	67	2.8
社会人を意識した身だしなみ		5	62	124	62	3.0
主体的な行動力		8	66	131	48	2.9
地域との協力		53	108	74	18	2.2

表 3-13 グランドデザインの目標達成状況 (2 年生)

目標項目	評価	1	2	3	4	評価平均値※
利他の精神		5	56	108	89	3.1 (3.1)
感謝の心		4	23	63	170	3.5 (3.5)
チャレンジ精神		14	106	97	43	2.7 (2.6)
基礎学力		25	130	90	14	2.4 (2.6)
専門知識		19	76	119	46	2.7 (2.8)
創意工夫		28	124	84	23	2.4 (2.5)
自分の意見を述べる		27	102	101	29	2.5 (2.4)
人の話をしっかり聞き受け止める		3	47	140	70	3.1 (3.1)
多様性を認め合う		13	71	114	62	2.9 (2.9)
岡商生のかきくけこ		19	114	100	25	2.5 (2.5)
社会人になるための準備 (言葉遣い・マナー)		7	71	131	51	2.9 (2.8)
読書習慣		109	75	45	29	2.0 (1.6)
さわやかな挨拶		13	66	107	73	2.9 (2.9)
社会人を意識した身だしなみ		6	61	131	61	3.0 (3.0)
主体的な行動力		11	73	126	49	2.8 (2.9)
地域との協力		61	121	58	19	2.1 (2.0)

※ ( ) は令和2年度、同生徒が1年生3月時点の評価平均値である。

#### (6) 学校に対する評価について (1 年生・2 年生)

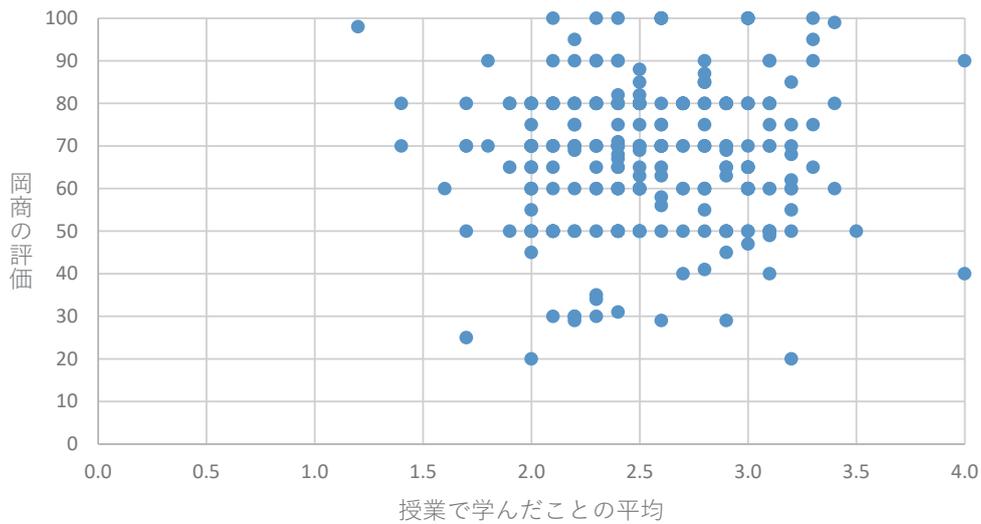
本校に対する評価について、生徒に直接点数を記入する方法 (100 点満点) で評価させた。60 点を平均点とすると明記した。1 年生の平均点は 68.7 点であった。2 年生は 58.8 点と学校に対する評価は、厳しいと感じるが同じ生徒が 1 年生の時は、67.9 点であり学校に慣れ親しんでいる一つのバロメータであると考えする。対象者が異なるため 1 年生と 2 年生を直接比較することの妥当性はないが、学校全体を生徒がどのように評価しているか参考とした。

## 4. 考察

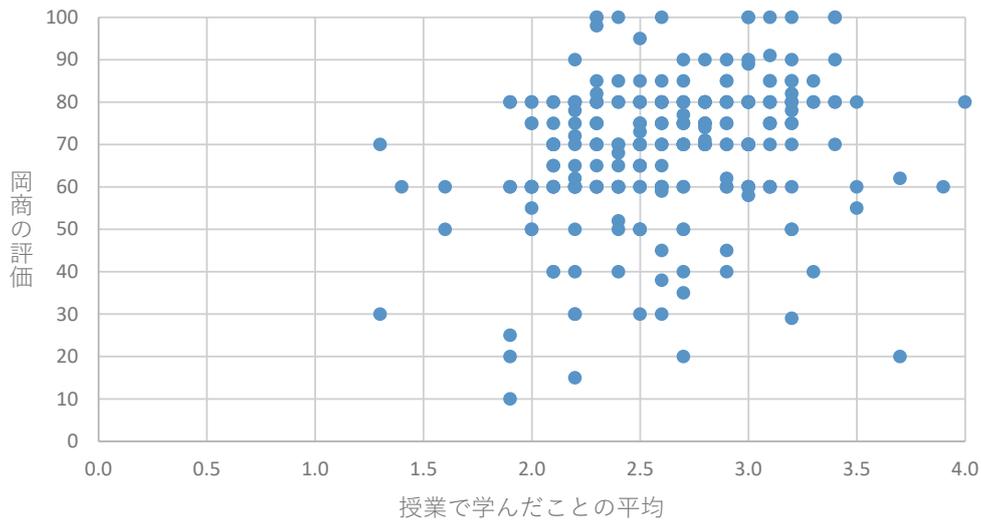
ここで、3 章にて検証したグランドデザインについて、昨年度のデータとも比較しながら考察する。

### (1) 1 年生

図 4-1 に、令和 2 (2020) 年度と令和 3 (2021) 年度の 1 年生に対して調査した、授業で学んだことに対する自己評価の平均 (1.0 ~ 4.0) と生徒から見た高等学校に対する評価 (100 点満点) の関係を示す。



(a) 令和2年度

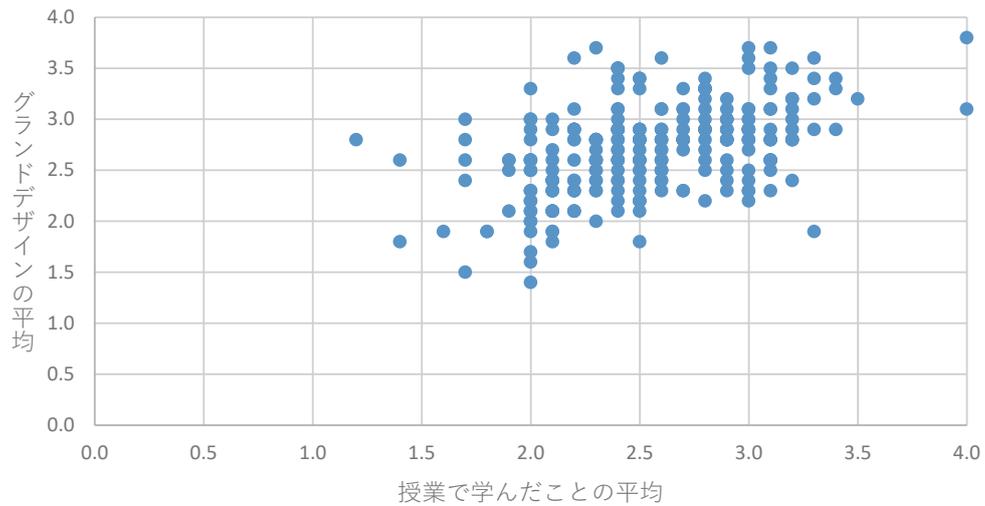


(b) 令和3年度

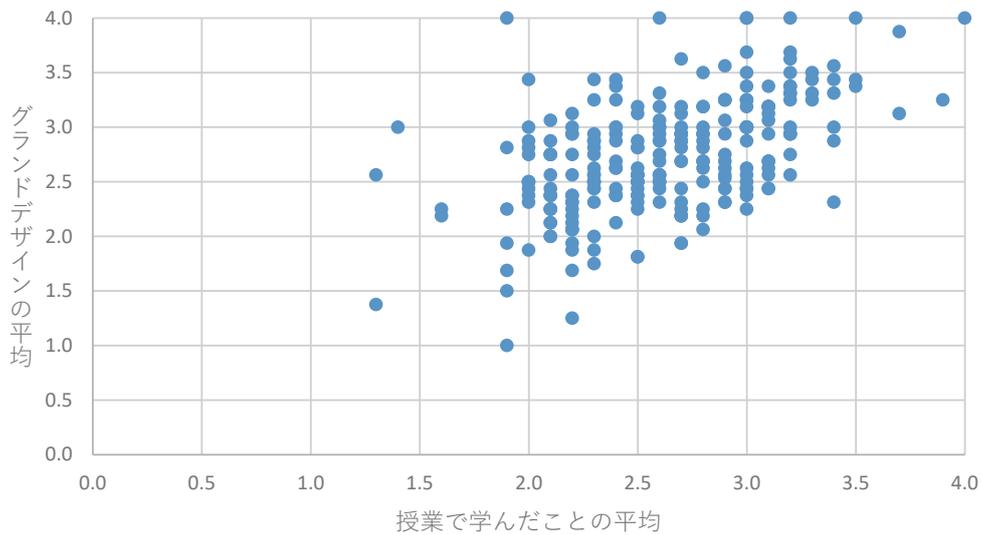
図 4-1 授業で学んだことの自己評価と高等学校に対する評価の関係（1年生）

図 4-1 からわかるように、授業で学んだことの自己評価の平均と高等学校に対するの評価について一定の分散はあるものの、全体的にみると、この2年間を通して授業で積極的に取り組み自分の成長を感じた生徒や、大いに興味を持ち次の学年でより深く学びたくなった生徒は学校に対する評価が高い傾向にあることがわかる。

次に、グランドデザインについて考察する。図 4-2 に令和2（2020）年度と令和3（2021）年度の1年生に対して調査した、授業で学んだことに対する自己評価の平均（1.0～4.0）と1人あたりのグランドデザイン平均値との関係を示す。



(a) 令和2年度



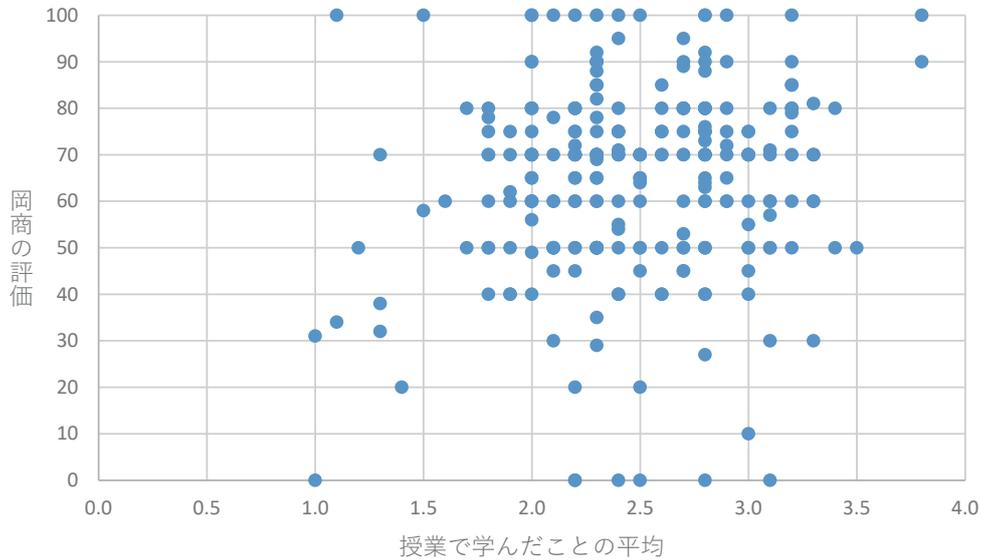
(b) 令和3年度

図4-2 授業で学んだことの自己評価とグランドデザインの関係区分（1年生）

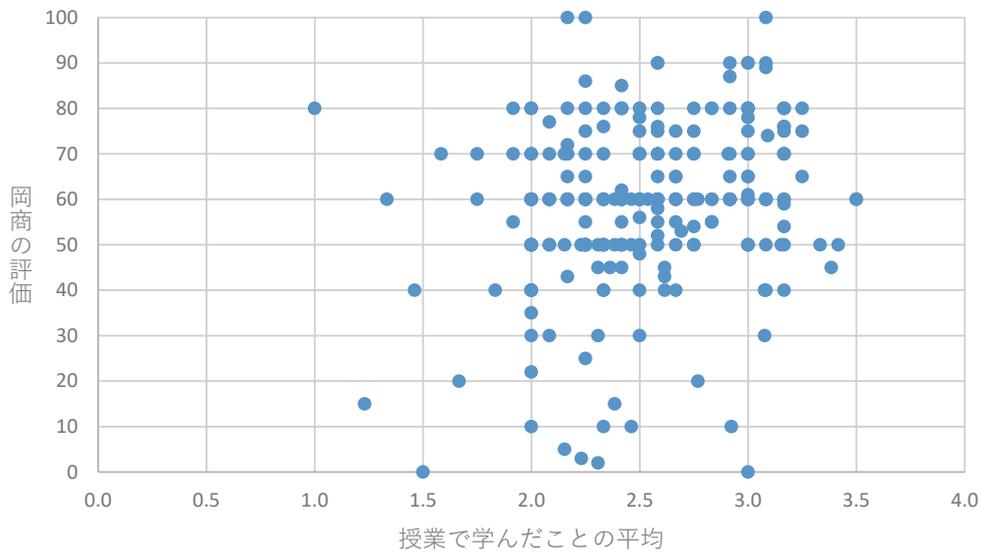
図4-2 からわかるように、授業で学んだことの自己評価の平均とそれぞれの生徒から見たグランドデザインの平均について一定の分散はあるものの、全体的にみると、この2年間を通して授業で積極的に取り組み自分の成長を感じた生徒や、大いに興味を持ち次の学年でより深く学びたくなった生徒はグランドデザインの達成度も高い傾向にあることがわかる。また、令和2（2020）年度と令和3（2021）年度を比較してみると、令和3（2021）年度においてはグランドデザインの平均が4.0と回答した生徒も複数確認することができることから、学校内においてもグランドデザイン達成に向けた指導の成果が出てきているとも考えられる。

(2) 2年生

図 4-3 に、令和 2（2020）年度と令和 3（2021）年度の 2 年生に対して調査した、授業で学んだことに対する自己評価の平均（1.0～4.0）と生徒から見た高等学校に対する評価（100 点満点）の関係を示す。



(a) 令和 2 年度



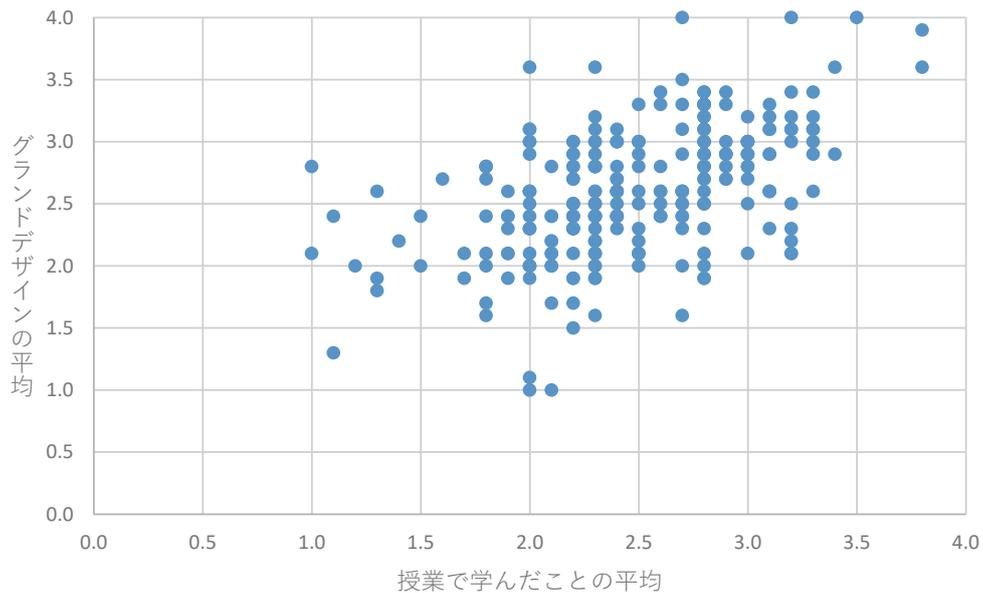
(b) 令和 3 年度

図 4-3 授業で学んだことの自己評価と高等学校に対する評価の関係（2 年生）

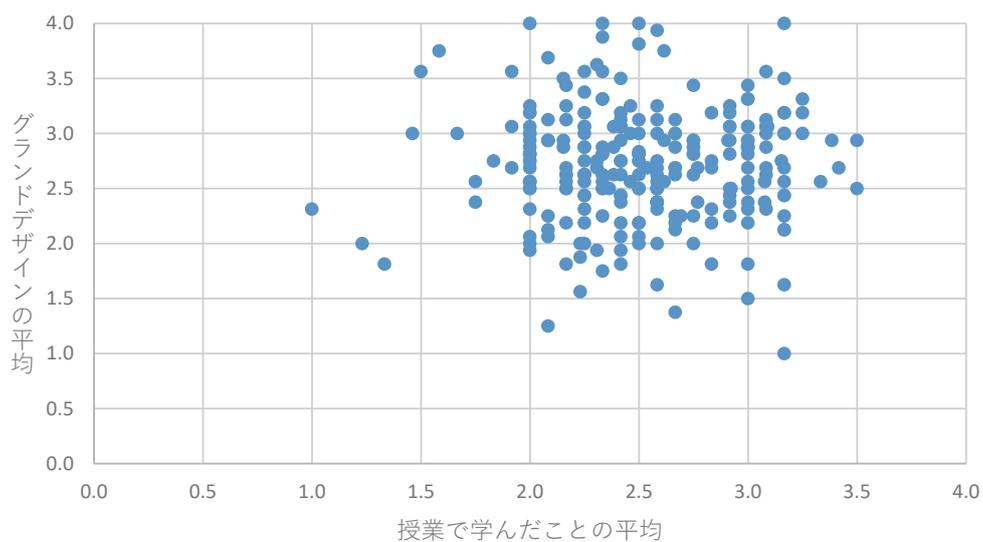
図 4-3 からわかるように、授業で学んだことの自己評価の平均と高等学校に対するの評価について、2 年間を通して深い相関は見られなかった。しかしながら、令和 2（2020）年度と令和 3（2021）年度を比較してみると、令和 3（2021）年度においては関係性について小さな

分散に変化していることも確認できる。コロナ禍も2年目となり学校に対する期待も極端に大きくなり、かつ対面による授業や学校行事なども復活しつつあることも考えられるが、これらの因果関係などについては、今後も調査を進めたうえで考察していく必要があると考えられる。

次に、ランドデザインについて考察する。図4-4に令和2(2020)年度と令和3(2021)年度の2年生に対して調査した、授業で学んだことに対する自己評価の平均(1.0~4.0)と1人あたりのランドデザイン平均値との関係を示す。



(a) 令和2年度



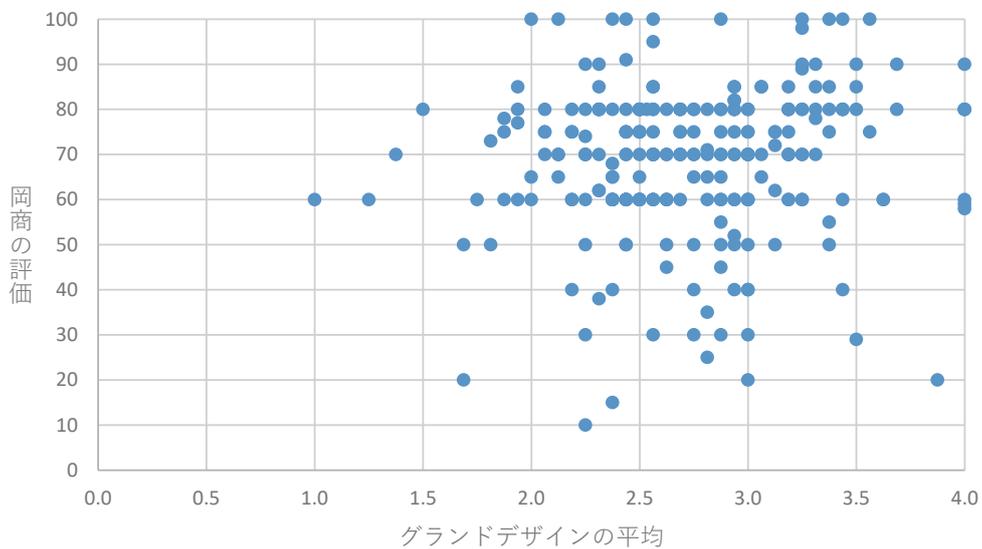
(b) 令和3年度

図4-4 授業で学んだことの自己評価とランドデザインの関係区分(2年生)

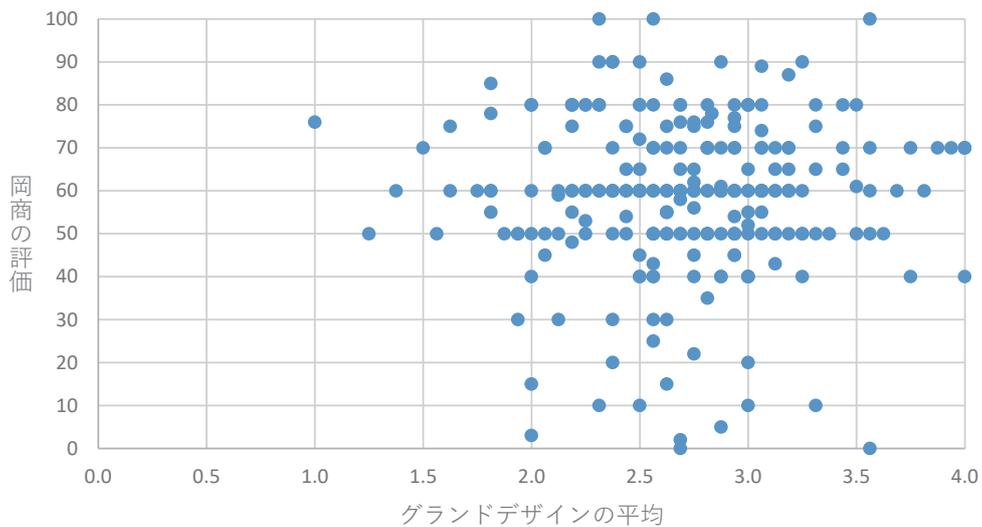
図 4-4 を見ると、授業で学んだことの自己評価の平均とそれぞれの生徒から見たグランドデザインの平均について、令和 2（2020）年度は低い評価から高い評価まで分散され強い相関関係にあるものの、令和 3（2021）年度については全体的に高い評価に集約されていることがわかる。コロナ禍による教育について教師側だけでなく生徒側も慣れてきたため低い評価になりにくかったことも理由として考えられる。また、グランドデザインについても達成度が令和 2（2020）年度に比べて高い傾向にある。こちらも、学校内でグランドデザイン実現に向けた努力が実を結びつつあると考えることもできる。

(3) グランドデザインの達成度と学校に対する評価との関係

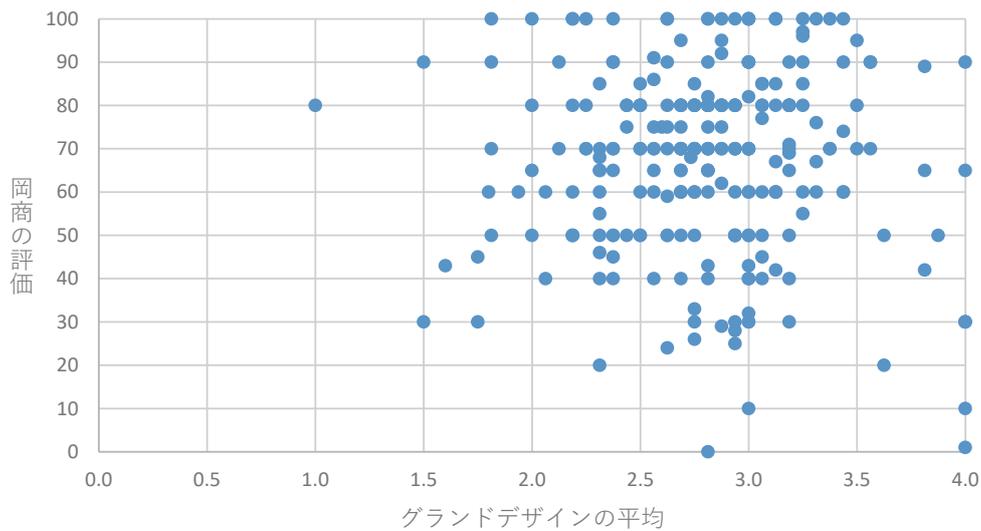
図 4-5 に、令和 3（2021）年度に調査したグランドデザインの達成度と学校に対する評価との関係を学年別に示す。



(a) 1 年生



(b) 2 年生



(c) 3年生

図 4-5 グランドデザインの達成度と学校に対する評価との関係

図 4-5 を見ると、それぞれの学年にて評価が分散していることが確認できる。しかしながら、1年生や3年生の評価を見るとグランドデザインの達成度や学校に対する評価が満点となっている生徒が複数いることが確認できる。1年生においては入学間もない時期によるモチベーションの高さ、3年生においては卒業間近となり学校生活への満足度なども反映されている可能性も考えられる。

(4) 学校生活に影響を与えたものとグランドデザイン達成度との関係

これまでにも述べてきた通り、学校生活においては普段の授業だけでなく部活動や資格取得など、生徒にとって学校生活を充実させる一因になっているものも多くある。ここでは、学校生活に影響を与えたものとグランドデザイン達成度との関係について考察する。

まず、図 4-6 に項目ごとのグランドデザイン達成度を示す。

図 4-6 ~ 4-9 における縦軸の数字は、(1) 利他の精神、(2) 感謝の心、(3) チャレンジ精神、(4) 基礎学力、(5) 専門知識、(6) 創意工夫して学習できているか、(7) 学校生活の中で自分の意見を述べる事ができているか、(8) 学校生活の中で人の話をしっかり聞き、受け止める事ができているか、(9) 学校生活の中で多様性を認め合い、だれとでも話す事ができているか、(10) 岡商生のかきくけこ、(11) 社会人になるための準備ができているか、(12) 読書習慣が身についているか、(13) さわやかな挨拶ができているか、(14) 社会人を意識した身だしなみができているか、(15) 主体的に行動することができているか、(16) 地域に貢献する活動ができているか、である。

図 4-6 を見ると、学年による値の違いは大きくは見られないが、(2) 感謝の心、(1) 利他の精神、(8) 学校生活の中で人の話をしっかり聞き、受け止める事ができているか、が比較的高い達成度にあることがわかる。逆に、(12) 読書習慣が身についているか、(16) 地域に貢献する活動ができているか、の達成度が低い数値となっている。

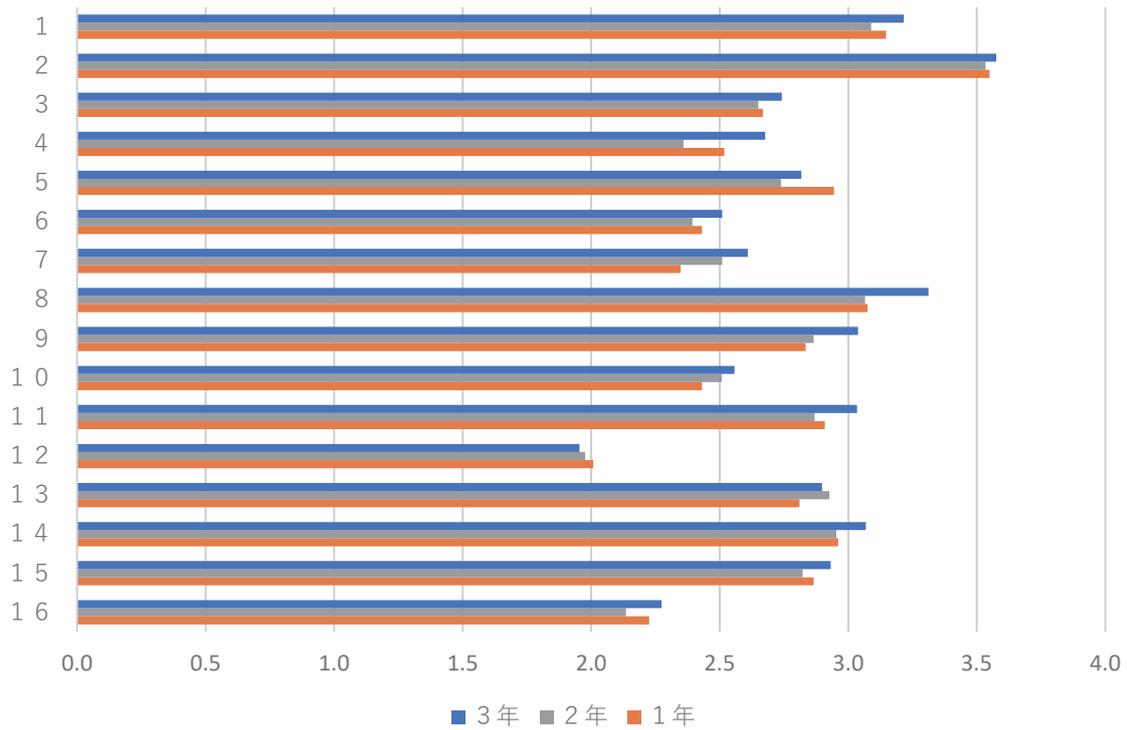


図 4-6 項目ごとのグランドデザイン達成度（全体）

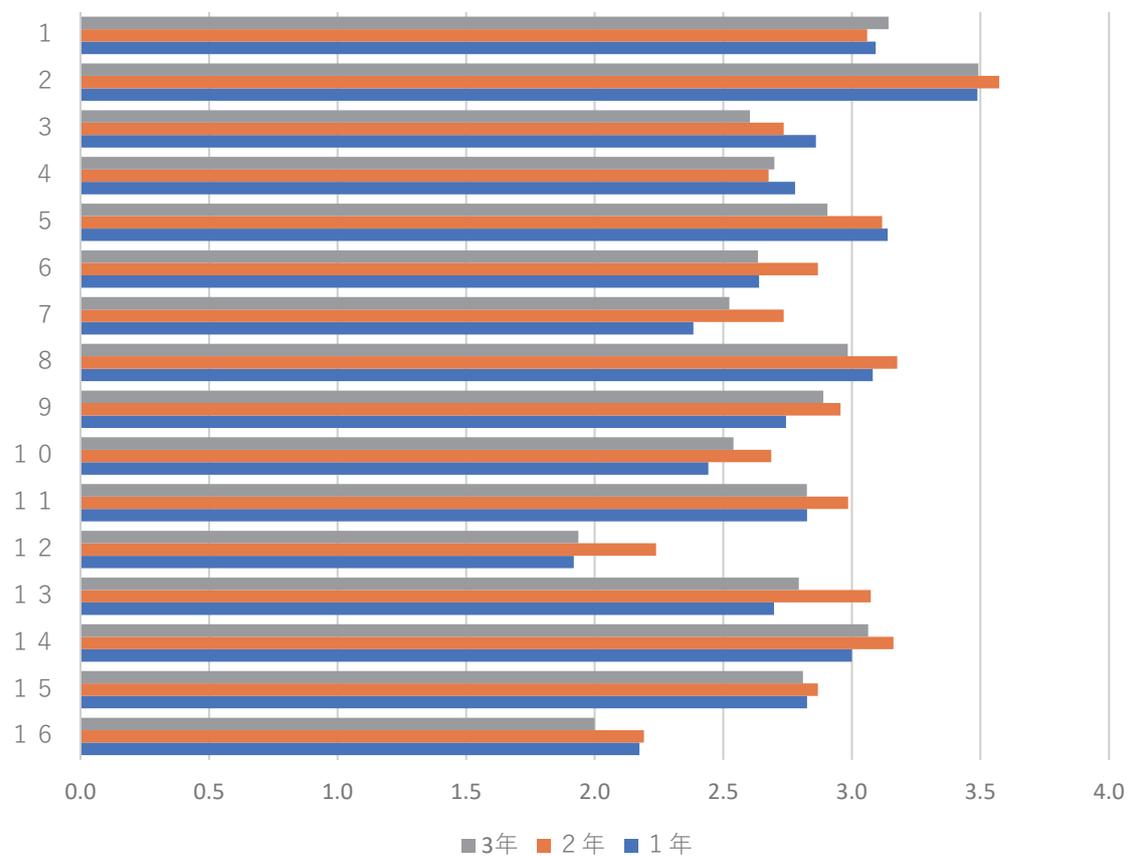


図 4-7 項目ごとのグランドデザイン達成度（勉強と回答した生徒）

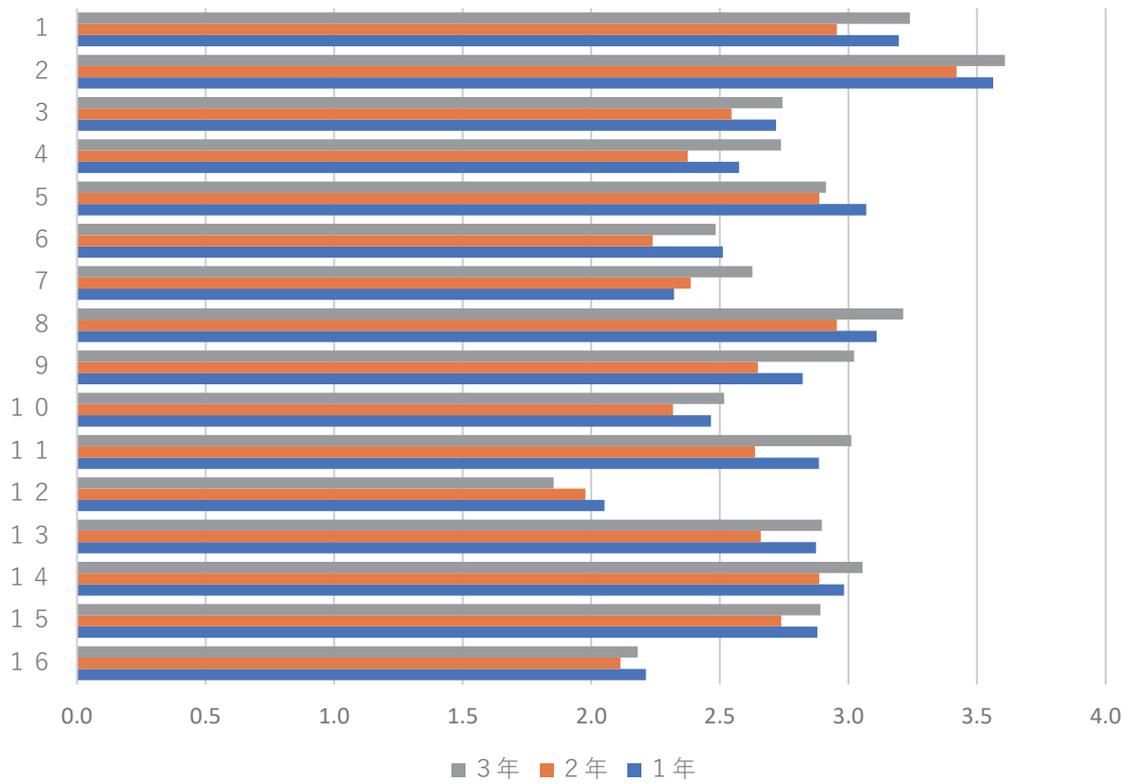


図 4-8 項目ごとのグランドデザイン達成度（資格取得と回答した生徒）

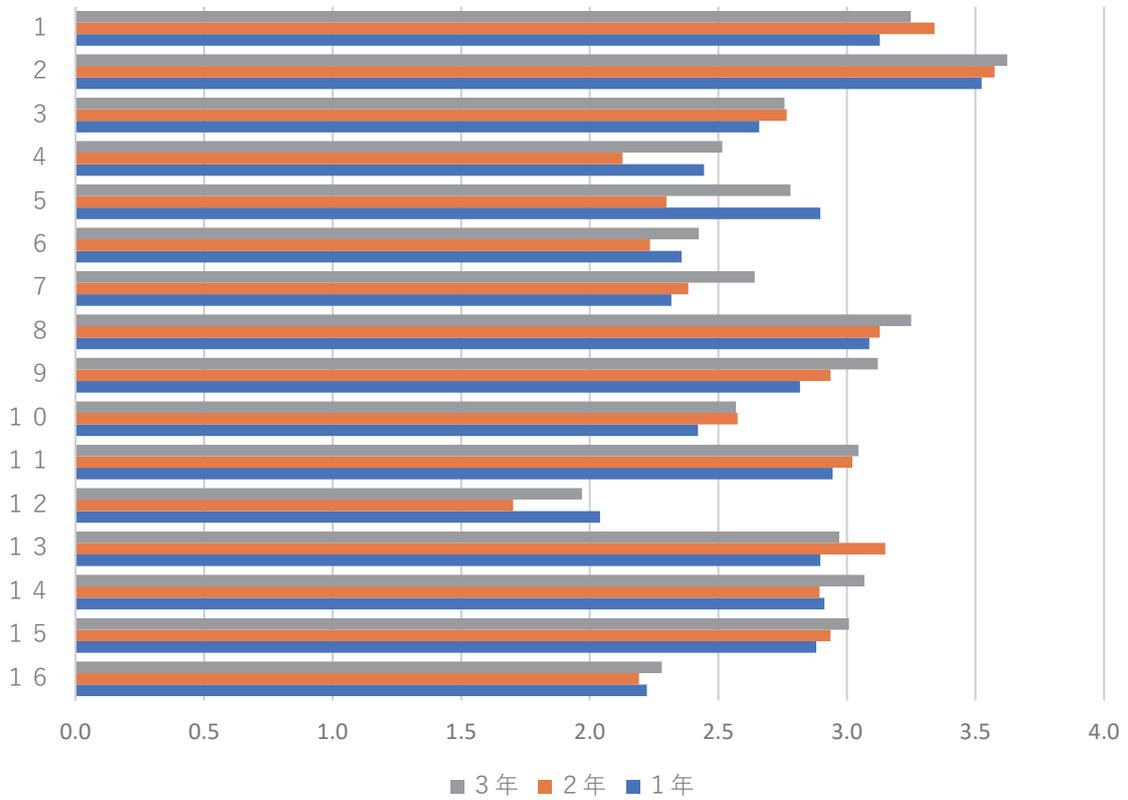


図 4-9 項目ごとのグランドデザイン達成度（部活動と回答した生徒）

図 4-7 に、高校生活に良い影響を与えたものが「勉強」と回答した生徒のグランドデザイン達成度を示した。図 4-7 を見ると、図 4-6 同様に (2) 感謝の心、(1) 利他の精神の達成度が高いことがわかる。また、16 項目中 12 項目において 2 年生の達成度が 3 学年で最も高い。勉強と回答した生徒にとってのグランドデザイン達成度の関連については今後さらに考察する必要がある。

図 4-8 に、高校生活に良い影響を与えたものが「資格取得」と回答した生徒のグランドデザイン達成度を示した。図 4-8 を見ると、図 4-6 同様に (2) 感謝の心、(1) 利他の精神の達成度が高いが、(12) 読書習慣が身についているか、(16) 地域に貢献する活動ができているか、のほかに (6) 創意工夫して学習できているか、の達成度がやや低い値となっている。また、図 4-7 と異なり、16 項目中 14 項目において 2 年生の達成度が 3 学年で最も低い。こちらも今後の検討課題であるといえる。

図 4-9 に、高校生活に良い影響を与えたものが「部活動」と回答した生徒のグランドデザイン達成度を示した。図 4-9 を見ると、全体的な特性は変わらないものの、(4) 基礎学力、(12) 読書習慣において、2 年生の達成度が 3 学年のうち極めて低いことが確認できる。部活動の内容にもよるが、今後は部活動に加入している生徒に対する基礎学力のフォローや読書習慣の向上への努力も必要であると考えられる。

しかしながら、高校生活に良い影響を与えたものが勉強、資格取得、部活動いずれにおいてもグランドデザイン達成度の平均値はすべて 2.0 以上であり、今後に向けた課題はあるものの一定の成果は上がっていると評価できる。

## 5. 今後に向けた課題

### 5. 1 グランドデザイン 2022 に向けて

2022（令和 4）年の入学生より新学習指導要領に則ったカリキュラムが始まる。教科指導では、主体的・対話的で深い学びになるような授業の工夫が必要となる。学校全体の構想図を表 5-1 にある 2022 岡商グランドデザインとして掲げた。本校は令和 4 年 120 周年を迎え節目の一年になる。このことは、長い歴史と伝統のある学校で学んでいることを生徒が誇りに思える学校づくりが急務であることを意味している。また、教科、商業では、教科間・科目間で連携し、実践的な知識・技術の習得を目標にした。生徒に合理的かつ創造的な課題解決能力を身に付けさせるとともに、豊かな人間性と主体的・協働的態度を養うことを明確にした。共通教科でも、年次進行で新学習指導要領に則った科目に替わる。従来型の板書のみ重点を置く授業方法から令和 3 年 4 月より一人一台タブレット端末を導入したことによる新しい授業方法は、生徒たちの学びのスタイルも変容することが期待できる。

### 5. 2 新学習指導要領（平成 30 年告示）1 年生の商業科目

ここでは平成 30（2018）年告示の学習指導要領に基づく商業高等学校 1 年生の商業科目を

表 5-1 グランドデザイン 2022

岡商生が身につけたい「か・き・く・け・こ」 感動→興味→工夫→決断→行動→感動→興味→サイクルを身につけよう		2022 岡商 GRAND DESIGN	
何 が で る か の よ う に 教 え る か	育てたい生徒像 即戦力となる社会人を育成する	身に付けたい資質・能力 人間的力 ・利他の精神 ・感謝の心 ・チャレンジ精神 ・創意工夫 適応力 ・基礎学力 ・専門知識 ・専門工夫	
	岡商モットー 「土魂商才」 武士の精神（自分自身と向き合う強さ） 商人の知恵（利他の精神） を兼ね備えた人材の育成	学びの姿勢 「学びあい・教えあい・高めあい」 ・学習意欲、探求心を高めることや想像力を刺激する授業の実践 ・岡商ステップアップアンケートを活用した授業マネジメントの実施	
き ら い な ら し い か	学年で一貫した取り組み	コミュニケーション能力 ・多様性を認め合える ・他人の話をしっかり聞き受け止める ・自分の意見を述べるができる	商業（総合ビジネス・国際ビジネス・情報処理・情報会計） ・教科間・科目間で連携し、実践的な知識・技術の習得 ・合理的かつ創造的な課題解決能力の育成 ・豊かな人間性と、主体的・協働的態度の育成
	1年 “KIRATTO” 輝く生徒の育成 ・基礎学力の定着を図り、粘り強く学び続ける態度の育成 ・何事も自らしっかりと考え行動できる自律性の涵養 ・習得した知識を様々な場面で活用できる「活きて働く力」の育成	進路指導 1年 自己を知る・人間関係を築く 「自己理解」「情報収集」	国語 地歴・公民 数学 憲法、政治、経済、公共について正確な知識を持ち、地域社会に貢献できる人材の育成 世界の多様な文化、歴史について理解し、国際化に対応・貢献できる人材の育成
な か ら の よ う に 教 え る か	2年 自他ともに認めあい高めあう環境づくり ・集団生活における協調性に富んだ態度の育成 ・自他の個性の尊重、理解と互いに認め合う環境の構築 ・進路選択の準備と明確な目標の設定	2年 自己を磨く・職業や社会を知る 「自己分析」「情報蓄積」	理科 保健 体育 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究する力を養う 自分自身の健康について主体的に考え、行動できる能力の育成
	3年 新成人・社会人になるための準備 ・主体的な進路選択・進路実現のサポート ・成人としての責任の自覚と主体的で自立した行動の定着 ・学力の充実、検定取得、社会への関心の育成	3年 社会での自分の役割を知る 「自己実現」「情報選択」	外国語 家庭 芸術 言語活動を通して情報や異文化を理解し、他者に伝えるためのコミュニケーション能力を育成 人の一生と生活全般に関する知識、技術の育成
か ら の よ う に 教 え る か	道徳教育 特別活動 様々な声を聞き、生徒と共に作り上げるコロナ禍の行事づくり	読書習慣・活字に触れる 図書館便りを通して情報発信をしたり、授業等を通して読書習慣を身につけさせ、自ら考えることができるよう育成	
	清掃活動 自主的に清掃にとりくみ、清掃箇所においてどのような活動をすればさらにきれいになるかをそれぞれが考えて行動する	組織的な生徒指導 自立に向かう高校生らしい生活態度と、自律精神（心）の育成、基本的生活習慣の定着 多様性と規範・規律の調和を体現し、社会の一員として適切（ふさわしい）な行動ができる態度の育成	
か ら の よ う に 教 え る か	相談活動 自分自身の言動が他者にどのように映るかを考え、他者を思いやる言動ができる	進路指導 ・岡崎女子大学短期大学、名古屋産業大学、青森科技大（台湾） PTA ・PTA総会、PTA通信の発行、岡商祭への協力依頼 ・120周年式典（2022年11月11日） 同窓会 ・地域 ・学校評議員の委嘱、行事の協力の依頼、SDGsを意識した地域活動	
	部活動 長所をみつける・磨く部活動 新体操（女）・ソフトボール（女）・バレーボール（女）・卓球（女）・サッカー（女） 電卓・商業美術・吹奏楽・演劇・新聞・家庭・茶華道・音楽・国際交流・ダンス・ボランティア	運動部 ソフトテニス（男女）・バスケットボール（男女）・弓道（男女）・柔道（女）・陸上競技（男女）・硬式野球・ハンドボール（女）	文化祭 OKASHOP・情報処理・簿記・ワープロ
120周年に向けた取組等 清潔感あふれる高校生らしい装い、充実した岡商生のライフスタイルの構築、1人1台タブレットの充実活用、120周年（2022年）記念式典の開催 SDGsへの取組、西三河を繋げる商品開発、あいちらーニング推進事業(R4.5)、金融教育研究校(R4.5)、地域協働ビジネススキルアップ事業（R3.4）			

愛知県立岡崎商業高等学校の履修科目事例として述べることにする。それは学校設定科目・岡崎学、ビジネス基礎、簿記、情報処理の4科目である<sup>4</sup>。愛知県立岡崎商業高等学校が立地する岡崎地区は古くから産業が集積し、その生産物は矢作川をはじめとする多くの河川を利用して他地域へ運搬され、経済が発展した地域である。明治維新後も産業集積は高度化し、人材育成のための商業補習学校の必要性が生じた。明治35（1902）年に岡崎町立商業補習学校が設立され、それ以降、校名等の変更は認められるが、商業教育を行い、卒業生を輩出し、地域産業構造の高度化に貢献した。昭和30（1955）年に現校名、愛知県立岡崎商業高等学校となり、令和4（2022）年、創立120を迎え、愛知県立学校で最も古く、歴史ある商業高等学校といえる<sup>5</sup>。この愛知県立岡崎商業高等学校に、岡崎学が1年生の商業科の学校設定科目<sup>6</sup>として置

<sup>4</sup> シラバス - 愛知県立岡崎商業高等学校 (aichi-c.ed.jp) 2022年5月11日閲覧  
<sup>5</sup> 吉田聡、尾碕眞、加藤千景「商業教育の現状と課題について」、AGU ビジネスレビュー第1号、P 7、注7、8参照。  
<sup>6</sup> 学校設定科目（総則第2款3（1）エ）学校においては、生徒や学校、地域の実態及び学科の特色等に応じ、特色ある教育課程の編成に資するよう、イ及びウの表に掲げる教科について、これらに属する科目以外の科目（以下「学校設定科目」という。）を設けることができる。この場合において、学校設定科目の名称、目標、内容、単位数等については、その科目の属する教科の目標に基づき、高等学校教育としての水準の確保に十分配慮し、各学校の定めるところによるものとする。学校設定科目の名称、目標、内容、単位数等は各学校において定めるものとされているが、その際には、その科目の属する教科の目標に基づきという要件が示されていること、及び科目の内容の構成については関係す

かれています<sup>7</sup>。

江戸時代、岡崎地域は宿場町として栄え、その経済的地位は東海道の宿場で3番目であったと言われている。また、河川を利用した商流、物流が古くから盛んで産業が集積し経済発展してきた、明治維新以降も産業構造を受け継ぎ、近代的工業が集積し発展している。このような歴史的背景から岡崎学を設置できたといえる。この地元の特色を生かし、そこから自主的に学べる設定は生徒の興味・関心を大いに高めるものといえよう。生徒の出身は岡崎市内在住が86%であり、その他は岡崎市に隣接する地域であることから、地元のことを学び、地元愛を醸成させ、地元のみならず社会に貢献できる人財を育成できることは間違いない。

以下、学校設定科目岡崎学から履修科目を述べ、つづいて、該当する商業科目についてみていくものとする。

#### (1) 岡崎学<sup>8</sup>

1、この科目は愛知県立岡崎商業高等学校独自の学校設定科目<sup>9</sup>で地域社会の健全で持続的な発展を目指し、生徒と教員が協働して取り組む、商業科の1年生の履修科目である。そこで、ビジネスを通じ地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人育成する視点から、ふるさと岡崎の歴史・自然・文化・産業などをより深く知り、よりよい岡崎にするために課題を発見し、解決案を提案する力を育み、岡崎市の魅力を再認識し、さらなる魅力を創造出来る岡崎学を構築する。

2、目標 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会活動の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1) 岡崎の歴史・産業・まちづくりなどについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。(2) よりよい岡崎にするために課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。(3) 課題を発見し、解決策を提案する力の向上を目指して自らが学び、地域社会の健

---

る各科目の内容との整合性を図ることに十分配慮する必要がある。商業科においては、通常履修される教育内容などを想定して、20科目が示されている。しかし、ビジネスの発展や地域の実態等に対応し、新しい分野の教育を積極的に展開する必要がある場合など、学校設定科目を設けることにより、特色ある教育課程を編成することができる。(高等学校学習指導要領(平成30年告示)総則第2款3(1)オ(ア))

<sup>7</sup> 日本教育新聞 2021年12月20、27日によれば、この科目は令和4年から1年生が履修する。開講される1年前に校長先生のリーダーシップのもと仮説検証のための授業を教員、生徒との協力で進めた。座学のみならず学外研修、外部講師招聘と生徒が能動的に問題解決できるプログラムを模索した。本年度(令和4年4月)スタートしたが、前年のプログラムを基に、教員と生徒の協議による研究を続け、岡崎の魅力を再認識し、さらなる魅力を創造できる科目にしていくと掲載されている。

<sup>8</sup> 「生徒と教員が取り組む学校設定科目『岡崎学』の研究開発—地域社会の健全で持続的な発展を担う職業人を目指して—愛知県立岡崎商業高等学校岡崎学に関する中間報告資料」、「愛知県立岡崎商業高等学校・平成4年度学習指導マネジメントシート」、「日本教育新聞 2021年12月20・27日号愛知県立岡崎商業高校<sup>①</sup>」を資料として作成した。

<sup>9</sup> 商業科においては、通常履修される教育内容などを想定して、20科目が示されている。しかし、ビジネスの発展や地域の実態等に対応し、新しい分野の教育を積極的に展開する必要がある場合など、学校設定科目を設けることにより、特色ある教育課程を編成することができる。(高等学校学習指導要領(平成30年告示)総則第2款3(1)オ(ア))

全で持続的な発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## (2) ビジネス基礎

1、この科目は、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを主眼としたものであり、従前と同様に商業に関する学科における原則履修科目として位置付けている。今回の改訂では、地域におけるビジネスの推進の必要性を踏まえ、身近な地域のビジネスに関する指導項目を取り入れるなど改善を図った。

2、この科目の目標は、商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。(2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

この科目においては、ビジネスを適切に展開して企業の社会的責任を果たす視点を持ち、ビジネスの場면을想定し、身近な地域のビジネスの動向を捉える実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展のため、ビジネスの展開について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにすることをねらいとしている。目標の(1)については、経済社会における事例など実際のビジネスと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けるようにすることを意味している。目標の(2)については、唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、ビジネスをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養うことを意味している。目標の(3)については、ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組む態度を養うことを意味している

## (3) 簿記

1、この科目は、企業において日常発生する取引について適正に記録するとともに、適正な財務諸表を作成するために必要な資質・能力を育成することを主眼としたものである。今回の改訂では、コンピュータを活用した会計処理の普及に伴う実務の変化を踏まえ、仕訳帳の分割に関する指導項目を削除するとともに、扱う伝票の種類について入金、出金及び振替の三つとするほか、会計ソフトウェアの活用に関する指導項目を従前の「ビジネス実務」から移行するなど改善を図った。

2、目標は、商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。(2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。(3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

この科目においては、取引の記録と財務諸表の作成を適正に行って企業の社会的責任を果たす視点を持ち、取引の記録と財務諸表の作成を行う場面を想定し、記帳や決算に取り組む実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適正な取引の記録と財務諸表の作成について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにすることをねらいとしている。目標の(1)については、簿記に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ実務に即した知識と技術を身に付けるようにすることを意味している。目標の(2)については、唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、簿記をはじめとした様々な知識、技術などを活用し、取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と実務に適用することに伴う課題を見いだすとともに、会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、簿記に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応する力を養うことを意味している。目標の(3)については、企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら簿記について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、記帳、決算など適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任をもって取り組む態度を養うことを意味している。

#### (4) 情報処理<sup>10</sup>

1、この科目は、ビジネスに関する情報を収集・処理・分析して表現し、活用する一連の活動を、情報セキュリティの確保、知的財産の保護などに留意して行うなど、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成することを主眼としたものである。今回の改訂では、情報を適切に表現し、活用できるようにする視点から、情報デザイン及び問題の発見と解決の方法に関する指導項目を取り入れるなど改善を図った。

2、目標は、商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。(2) 企業において情報を扱うことに関する

<sup>10</sup> 総則第2款3(2)ウ) 専門教科・科目による必修教科・科目の代替 (イ) 専門教科・科目の履修によって、アの必修教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その専門教科・科目の履修をもって、必修教科・科目の履修の一部又は全部に替えることができること。商業に関する学科においては、例えば、情報処理の履修により情報Ⅰの履修に代替することなどが考えられるが、全部代替する場合、情報処理の履修単位数は2単位以上必要である。なお、この例示についても、機械的に代替が認められるものではない。代替する場合には、各学校には説明責任が求められる。

課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。(3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

この科目においては、ビジネスを適切に展開して企業の社会的責任を果たす視点を持ち、ビジネスの場面を想定し、情報の集計と分析、ビジネス文書の作成、プレゼンテーションに取り組む実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報を適切に扱うことについて、組織の一員としての役割を果たすことができるようにすることをねらいとしている。目標の(1)については、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ情報の収集・処理・分析・表現と活用に関する知識と技術を身に付けるようにすることを意味している。目標の(2)については、唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、ビジネスに関する情報の扱いをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、企業において情報を収集・処理・分析して表現し、活用することに関する課題を発見するとともに、情報の管理と発信が社会に及ぼす影響を踏まえ、情報セキュリティの確保などに関する技術、情報の扱いに関する成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫して最適な解を導き出し、よりよく解決する力を養うことを意味している。目標の(3)については、企業活動を改善する力の向上を目指して自ら情報を収集・処理・分析して表現し、活用することについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、情報の集計と分析、ビジネス文書の作成、プレゼンテーションなどに責任をもって取り組む態度を養うことを意味している。

## 6. おわりに

本論文では、ビジネス教育を発展させるためのグランドデザイン（学校教育全体構想図）を愛知県立岡崎商業高等学校にて構築し、その成果を評価するための全校生徒を対象としたアンケート調査を令和2（2020）年度に続き令和3（2021）年度にも行うことで、時系列による調査結果についての分析および考察を行うことができた。商業高校における生徒の満足度は、必ずしも学習内容のみに依存するわけではなく、課外活動、特別活動および学校行事などについても重要な位置付けになっていることを示してきた。これに加え、時系列にて調査を行うことで、令和2（2020）年度より明確化しているグランドデザインについても一定の成果が上がっていることも確認できた。

今後は、グランドデザインを生徒の入学から卒業までの3年間にわたって継続的に行った際の時系列での変化などについても考察を行っていく。また、新しい学習指導要領とグランドデザインとの関係性についても考察を進めていく予定である。

なお、本研究の一部は愛知学院大学ビジネス科学研究所令和4年度共同研究プロジェクトによるものである。また、アンケート調査にあたっては愛知県立岡崎商業高等学校および同校在校生にご協力いただいた。データの作成や分析にあたっては内田彩花さん（愛知県立岡崎商業高等学校卒業・現在本学商学部吉田ゼミ4年生）、藏元麻衣さん（同左）にご協力いただいた。ここに感謝申し上げる次第である。